

一橋学問のひとつの特色について

西松会総会

2015.3.10

寺西 重郎

一橋の学問の特色

①実学 ②社会科学の総合 ③多元的世界観

1) 一元的世界観

かつて資本主義 vs 社会主義での資本主義の勝利
ケインズ主義 vs 新古典派での新古典派の勝利
(のつもり ; 個人の最適化がすべてを決定すると言う
架空の想定の下での新古典派の勝利)

2) 最近では単線的歴史観

プロト工業化

グレート・ダイバージェンス

トマ・ピケッティの所得分配論

3) 終戦直後；敗戦の衝撃

近代化論の制覇（丸山真男〈個人の主体性〉）

・大塚久雄（アジア的社会と組織の否定・ウェーバー）

・川島武宣

近代化論としてのマルクス主義

（古代・封建制・絶対王政・

資本主義的近代社会——>社会主義）

4) なぜ多元性が重要か

効率性（強い効率的なものが生き残る淘汰・

適者生存、ダーウィン過程では一元化）

<=>多元的社会の安定性・創造性・平等性

一橋では

講座派（山田盛太郎；日本の特殊性、
明治維新＝絶対主義移行）

労農派（明治維新＝市民革命）

増田四郎（市民） vs 大塚久雄（脱アジア的心性）

5) 一橋の歴史

対帝大；民間対官界（常に自分の立ち位置を確保）

教育システム（灘日比谷→東大→大蔵省）

戦前；①一高；東大

②高等商業（工業）学校；予科；商科大学

③師範学校；予科；高等師範学校

④陸軍士官学校、海軍兵学校